

0-1

高齢者や衰弱者の癌治療における、在宅温熱療法としての低温岩盤浴の有用性について—特に膵臓癌に対する効果について—

Effectiveness of low temperature- base rock bath remedy for advanced cancer of elderly and debilitated patients.

-Effectiveness , especially, for the pancreas cancer.-

篠崎 洋二¹⁾、矢野 純子¹⁾、宇都宮 紫¹⁾、上者 郁夫²⁾、笠原 真悟³⁾、佐野 俊二³⁾

1) 医療法人 篠洋会 篠崎クリニック、2) 岡山大学大学院保健学研究科

3) 岡山大学大学院医歯薬総合研究科 心臓血管外科

In the 12th Japanese society for complementary and alternative medicine of last year, base-rock-bath of mild- hyperthermia (36-39°C) was reported to be safely adopted to the far elderly and debilitated patients.

This new concept of therapy was effective for the advanced cancer, when the appropriate base-rock was selected. This time, we are to report of 10cases of pancreas cancer.

Of the 3 cases of pancreas cancer without metastases, all cases showed partial remission(PR) of tumors.

【目的】

昨年の第12回日本補完代替医療学会において、石を選べば、低温岩盤浴は単独療法として、高齢者や心不全などの重篤な病気を抱えた病人にも安全に適応でき、更に進行癌の治療法として有益であることを示した。今回、我々は主として、10例の膵臓癌に対する治療効果について報告する。

【方法】

10例の膵臓癌について低温岩盤浴を施行した。青龍石の岩盤を用いて、36°C - 39°C、40分程度の低温岩盤浴を原則、週4回以上施行し、進行癌に対する効果をCT、MRIにより判定した。

【結果】

膵臓癌10症例のうち4例(40%)がPR、1例(10%)がMRの効果判定となり、特に遠隔転移のない膵臓癌3例はいずれもPRの効果判定が得られた。

【結論】

青龍石や麦飯石等の適切な岩盤を選べば低温岩盤浴は高齢者や衰弱者に適応可能であり、膵臓癌に対する有力な治療法と考えられた。今後、衰弱者や超高齢者における膵臓癌の治療法及び予防法として有力な方法となると思われる。